

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学 事	_____	
平成21年度医学博士授与者（前期）	2
○ 人 事	_____	
新任教授・部局長等・新任准教授・新任講師	2
新任あいさつ	2
・医学部 産科婦人科学講座 教授 藤森敬也		
・医学部 基礎病理学講座 教授 千葉英樹		
・医学部 自然科学講座（生物学） 教授 松岡有樹		
・看護学部 生命科学部門長 教授 鈴木順造		
・寄附講座 腫瘍生体治療学講座 特任教授 柴田昌彦		
○ 諸 規 程 改 正	_____	
平成21年6月から平成22年1月までの諸規程の制定改廃関係	4
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	_____	
役員会	5
経営審議会	5
教育研究審議会	6
医学部教授会	6
看護学部教授会	6
○ 雑 報	_____	
倫理委員会	6
医学部定員増の実施について	12
寄附講座の開設について	12
学生の部活動報告（サッカー部）	13
平成21年度科学研究費補助金採択状況	14
平成21年度厚生労働科学研究費補助金採択状況	16

学 事

■平成21年度医学博士授与者（前期）

[平成21年9月授与]

氏 名 学 位 論 文 名

小田島洋子 Prediction of Sensitivity to 5-fluorouracil by quantitative measurement of 5-fluorouracil metabolism relating gene expression in gastric and colorectal cancer.
(胃癌・結腸癌における代謝関連酵素遺伝子発現からみた5-FUの感受性予測)

人 事

(平成22年2月1日現在)

◎新任教授

昇任 H21.8.1	医学部産科婦人科学講座	藤森 敬也
採用 H21.10.1	医学部基礎病理学講座	千葉 英樹
採用 H22.1.1	医学部腫瘍生体治療学講座	柴田 昌彦
昇任 H22.2.1	医学部自然科学講座	松岡 有樹

◎部局長等

兼務 H21.10.1	看護学部生命科学部門長	鈴木 順造
兼務 H22.1.1	附属病院腎臓・高血圧内科部長	渡辺 毅
兼務 H22.1.1	腫瘍生体治療学講座主任	棟方 充

◎新任准教授

昇任 H21.8.1	医学部生体物質研究部門	本間美和子
昇任 H21.12.1	医学部整形外科学講座	田地野崇宏
昇任 H22.1.1	医学部衛生学・予防医学講座	早川 岳人

◎新任講師

昇任 H21.7.1	附属病院薬剤部	白坂 正良
昇任 H21.10.1	医学部皮膚科学講座	川上 佳夫
昇任 H21.10.1	医学部附属放射性同位元素研究施設	中川 公一
昇任 H21.11.1	医学部生体物質研究部門	北村 拓也
昇任 H22.2.1	医学部薬理学講座	坂本 多穂
昇任 H22.2.1	医学部脳神経外科学講座	佐藤 拓

■新任あいさつ



教授就任ごあいさつ

医学部 産科婦人科学講座

教授 藤森 敬也

平成21年8月1日より、福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座教授を拝命いたしました。私は昭和63年福島県立医科大学を卒業後、大学院に進学し産科婦人科学を専攻いたしました。大学院修了後の平成4年4月から2年間、米国・カリフォルニア大学アーバイン校へ留学し、村田雄二大阪大学・カリフォルニア大学名誉教授のご自宅に下宿をさせていただきながら、最先端の米国臨床医学を学び、エビデンスに基づいた診断治療の大切さを教えていただき、また、たくさんの歴史的論文に接する機会を与えていただきました。帰局後は、母体・胎児専門医としての専門性を高め、福島県内の母体合併症妊娠や胎児異常のハイリスク妊娠、胎児治療、分娩管理を他施設やNICU、小児外科などの他科との連携をとりながら行って参りました。

現在、日本全国で産婦人科医療の荒廃が叫ばれて久しいですが、福島県も例外ではありません。産婦人科医療の復活のためには、医局から優秀な産婦人科医をたくさん輩出することだと思っています。そのためには、魅力的な学生教育を行い、学生教育を通して生殖医療に係わる喜びを伝えていけば、必ず将来産婦人科医が増えるものと信じております。また、専門医教育においては、産科学、婦人科腫瘍学、内分泌学のすべての分野においてバランスの取れた generalist を育成するとともに、周産期学、婦人科腫瘍学、不妊・内分泌学、内視鏡治療、臨床遺伝学、臨床細胞診断学、超音波診断学など多岐にわたる specialist を、じっくり育成していけるような講座運営を行って参りたいと考えております。皆様のご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。



教授就任ごあいさつ

医学部 基礎病理学講座

教授 千葉 英樹

平成21年10月1日付けをもちまして、基礎病理学講座を担当させていただくことになりました。初代教授の佐藤春郎先生、第二代教授の中村久也先生、第三代教授の鈴木利光先生が築かれてきた礎を基に、教育・研究・病理学の様々な責務に全力を尽くす所存です。どうぞ宜しくお願い

申し上げます。

私は昭和63年に札幌医科大学を卒業し、整形外科医を経て病理学と基礎研究の道を歩み始め、現在に至っております。一見寄り道をしたようですが、臨床医としての経験は私のバックボーンの一つであると考えています。また、私が非常に幸運であったことは、直属の上司、多くの先輩・同期・後輩に恵まれたことです。これからは是非、福島県立医科大学の皆様と親睦や交流を深めて参りたいと考えております。

病理学は、病気の原因や成立機序を個体・臓器・組織・細胞・分子レベルで理解する学問です。当講座では、医学部学生や若手医師が『学問としての病理学』に魅力を感じる教育を目指していきます。また研究を主体とする講座として、医学・科学の最新知見を紹介し、新しい発想・発見や研究の重要性・面白さを体感してもらう場を提供したいと考えています。

病理診断業務に関しては、病理病態診断学講座と協力体制を築き、県民のニーズに応じた病理診療を提供したいと考えています。また、全国的に不足している病理医の育成に努め、地域医療に貢献したいと考えております。

微力ではございますが、福島県立医科大学の皆様とともに、医学の将来を担う魅力ある人材の育成と大学の発展に誠心誠意努力したいと考えております。皆様には、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



教授就任ごあいさつ

医学部 自然科学講座 (生物学)

教授 松岡 有樹

平成22年2月1日付けで福島県立医科大学医学部自然科学講座(生物学)の教授に就任いたしました松岡有樹(まつおかありき)です。私は、昭和59年に東北大学理学部を卒業し、同大学院を修了した後、ケース・ウェスタン・リザーブ大学医学部のポストドクトラルフェロー、東北大学理学部助手を経て、平成13年に助教授として福島医大に赴任いたしました。これまでも研究、教育のさまざまな面で多くの方々に支えられてまいりましたことを、まず心より感謝申し上げます。

ご存知のように、近年の分子生物学の発展を受けて医学教育の内容は高度化・専門化しております。しかしその一方で、中学校・高等学校では、学習指導要領の改訂による授業数の削減や学習内容の簡略化が著しく、生物学に関する実験や実習を体験せずに入学する学生も急増しています。このような現状に危機感を持ちつつ、まずは基礎教育をしっかりと行いたいと考えております。学生一人一人に対応したきめ細やかな教育を行うことで、医学教育へのス

ムースな移行を図り、学生のモチベーションを高めていきたいと考えています。

研究に関しては、ヘモグロビンやミオグロビン、一酸化窒素合成酵素(NOS)など酸素結合タンパク質をテーマに行っております。これらのヘムタンパク質は、進化の長い道のりの中で、酸化力の強い酸素分子を安定に保持する能力や、逆にこれを活性化する能力を持つことで、様々な生理機能を有するに至りました。このような多様性を持つ酸素結合タンパク質の構造と機能そして分子進化がメインテーマです。研究面でも臨床や基礎の先生方と積極的に連携させていただきたいと考えております。

今後も生物学の教育と研究を着実に進めて、福島県立医科大学の発展に尽力したいと考えております。皆様のご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



部門長就任ごあいさつ

看護学部 生命科学部門長

鈴木 順造

(生命科学部門 教授)

生命科学部門は、本多つよし先生、森 努先生と私の3名で、看護系における医学の基礎および臨床についての教育を行うとともに、それぞれが実地臨床の現場に立ったり、研究を行っております。

看護学生の教育で最も重要な目的は「人間性豊かで、優れた看護師」を養成することと考えております。看護の技術や知識に優れていることは言うまでもありませんが、医療へ幅広い知識を持った看護師であることが必要とされます。そして、患者さんひとりひとりのニーズにあったテーラーメイドの看護を行える看護師の養成が最終的な目標と考えております。そのためには、解剖生理学、病理学、微生物学、薬理学、生化学、栄養学といった基礎医学の知識を十分に習得し、さらにこれらの知識を統合して、様々な臓器や組織における病態と症状、診断方法、治療、経過と予後について学習し、各々の疾患の特異性を理解することが大変重要であると思っております。

また、本多、森、鈴木が掲げております研究テーマがあり、それぞれがそれなりの成果を出さなければならないと考えております。

これら教育と研究・臨床を成就させるためには、人の問題など多くの課題を乗り越えながら一步一步着実に充実させていきたいと思っております。どうぞご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



特任教授就任ごあいさつ

腫瘍生体治療学講座

特任教授 柴田昌彦

平成22年1月1日付けで福島県立医科大学に寄附講座として開設されました腫瘍生体治療学講座に着任いたしました。私自身はこれまで消化器・一般外科医としての道を歩んでまいりました。これからも消化器癌の分野で研究、診療を続けさせていただければと考えております。

癌患者さんでは宿主免疫能の著しい抑制が見られます。しかしながらその程度や病態は様々であるためにその免疫治療は患者さんに個別のものでなくてはなりません。癌免疫療法は開発されてからは長い時間が経ち、その治療Modalityも多岐に分かれてさらに進化中と考えられます。しかしながらその効果は決して満足できるものでなく、その原因は個々の患者さんの免疫能に対応した免疫療法ができなかったためと考えています。本講座では個々の患者さんの免疫能を検査して評価し、患者さんに対応した免疫療法を提供できればと考えています。また近年、従来の免疫賦活剤が癌化学療法と併用することによりその副作用を軽減することが注目されています。副作用を減弱して抗がん剤の投与期間が延長し、この結果投与量が増加して癌化学療法がさらに効果的なものになります。また免疫化学療法とすることで抗がん剤による免疫抑制を予防することが可能となります。浅学非才ではありますが、この領域を中心に福島発の新しい治療を開発して本学の利益となるよう微力ながら努力する所存です。どうぞよろしく願いいたします。

諸規程改正

■ 平成21年6月～平成22年1月までの諸規程の制定改廃関係

- 「公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則」の一部改正（平成21年6月1日制定・施行）
附属病院に勤務する職員のうち、特別の形態によって勤務する必要がある職員については、夏季休暇を取得することができる期間を毎年6月16日から10月15日までに拡大する旨の改正を行いました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議規程」の一部改正（平成21年6月22日制定・施行）
理事長選考会議の委員について、理事長候補適任者に

推薦された場合以外の理由により選考会議の委員に欠員が生じた場合でも、補充員をもって選考会議の委員に充てることとするとともに、選考会議の委員の任期を経営審議会又は教育研究審議会の委員の任期と一致させる旨の改正を行いました。

- 「公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則」の一部改正（平成21年6月24日制定・施行）
地方公務員法の規定により休職とされ、引き続き法人の職員となった者が再び同一傷病により休養を要する場合において、法人職員の場合と同様に休職期間の通算ができる旨の改正を行いました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員服務規程」の一部改正（平成21年7月1日制定・施行）
病気休暇のうち、精神科疾患による休職者が復職しようとする場合については、復職願の提出期限を1か月前とするため、現行制度の原則7日前を提出期限とする規定に例外を認める旨の改正を行いました。
- 「福島県立医科大学学位規程」の一部改正（平成21年7月24日制定・施行）
本学が授与する学位について、新たに学士を加えるとともに、医学研究科修士課程設置に伴う条文の整理等の改正を行いました。
- 「福島県立医科大学授業料等に関する規程」の一部改正（平成21年7月24日制定・施行）
大学院博士課程に修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、その退学した日から2年以内に学位の授与を申請する場合、学位審査料を免除する旨の改正を行いました。
- 「福島県立医科大学倫理委員会規程」の一部改正（平成21年8月1日制定・施行）
平成21年4月1日付けで厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」が改正されたことに伴い、研究の許可権者（学長）を明記するなど、学長と倫理委員会との関係を整理する等の改正を行いました。
- 「福島県立医科大学会津統合病院（仮称）教員選考に係る資格審査委員会規程」の制定（平成21年8月12日制定・施行）
本学の附属化が予定されている会津統合病院（仮称）に勤務する教員の採用、昇任及び称号付与等に関する選考に必要な資格審査を行うための委員会に関する規定を制定しました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正（平成21年10月1日制定・施行）
託児所利用料金に関する24時間保育託児料について、更なる利用者の利便を図るため、水曜日から木曜日までの3日間のみ認めていたものを、月曜日から金曜日までのうち、利用申込みのあった3日間を認める旨の改正を行いました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員の勤務時間、休日

及び休暇等に関する規程」の一部改正（平成21年10月28日制定・施行）

職員就業規則に定められている特別休暇のうち、子育て休暇に該当する事由が不明確であったことから、子育て休暇の対象事由を明記するための改正を行いました。

- 「福島県立医科大学学則」の一部改正（平成21年11月11日制定・施行）

平成22年度からの医学部入学定員5名増の増員計画について、11月10日付けで文部科学省から承認されたことから、入学定員増に関する学則の改正を行いました。

- 「公立大学法人福島県立医科大学副理事長及び理事の任期に関する規程」の制定（平成21年11月25日制定・平成22年4月1日施行）

本法人の副理事長及び理事の任期については、6年を超えない範囲で理事長が定めることになっていましたが、任期について、具体的な規定がなかったことから、今回、2年間の任期を定める規程を制定しました。

- 「公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程」の一部改正（平成21年11月30日制定・施行）

福島県の職員給与の改定状況を踏まえ、福島県と同様の内容で法人職員の給与の改定を行いました。

主な改正点は以下のとおりです。

- (1) 給与月額引下げ〔平成21年12月1日適用〕
- (2) 給与の調整額引下げ〔平成21年12月1日適用〕
- (3) 自宅に係る住居手当の廃止〔平成21年12月1日適用〕
- (4) 12月期の期末・勤勉手当の支給割合の引下げ〔平成21年12月1日適用〕
- (5) 6月期の期末・勤勉手当の支給割合の引下げ〔平成22年4月1日適用〕

- 「公立大学法人福島県立医科大学職員の給与の特例に関する規程」の一部改正（平成21年11月30日制定・施行）

福島県の職員給与の改定状況を踏まえ、賞与積算の際に基礎額を5.0%カットする給与抑制措置を本年12月に支給される期末手当及び勤勉手当については、行わない旨の改正を行いました。

- 「公立大学法人福島県立医科大学役員報酬規程」の一部改正（平成21年12月1日制定・施行）

福島県の特別職の職員の給与改定を受け、本法人役員の期末特別手当の期末特別手当基礎額に乗ずる割合を6月分については0.15、12月分については0.1引き下げる旨の改正を行いました。

- 「福島県立医科大学動物実験規程」の一部改正（平成21年12月1日制定・平成22年2月1日施行）

本学での動物実験計画の承認期間が、年度毎から複数年度に変更されたことに伴い、動物実験実施報告書（様式第2号）に「実験実施期間」の項目を追加する旨の改正を行いました。

- 「福島県立医科大学会津医療センター（仮称）教員選考

に係る資格審査委員会規程」の一部改正（平成21年12月10日制定・施行）

会津統合病院（仮称）附属化準備委員会での名称変更に合わせて、病院名称を「会津統合病院（仮称）」から、「会津医療センター（仮称）」とする旨の改正を行いました。

- 「公立大学法人福島県立医科大学特任教授等の称号付与規程」の一部改正（平成22年1月21日制定・施行）

より幅広い人材の活用を図る観点から、新たに「特任助教」の称号を設けるとともに、会津医療センター（仮称）の開設準備を支援するため、称号付与対象者に、開設準備に従事する常勤又は非常勤職員を加えるほか、理事長が特に認める者を対象とする旨の改正を行いました。

- 「福島県立医科大学大学院医学研究科委員会規程」の一部改正（平成22年1月22日制定・施行）

医学部長が兼務していた大学院医学研究科長について、医学部長が大学院医学研究科委員会委員の中から大学院医学研究科長を推薦し、大学院医学研究科委員会の議を経て学長に内申する旨の改正を行いました。

役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

■ 役員会

【平成21年10月28日 第7回役員会】

- ・寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

（名称）

腫瘍生体治療学講座

（設置期間）

平成22年1月1日～平成24年12月31日（3年間）

（研究テーマ）

がん患者の適切な免疫化学療法に関する研究

■ 経営審議会

【平成21年6月22日 第1回経営審議会】

- ・理事長選考会議委員の選出

経営審議会委員の中から、次のとおり理事長選考会議委員が選出された。

丹羽 真一（副理事長）

竹之下 誠一（理事兼附属病院長）

前原 和平 (外部委員)

- 公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則の一部改正
- 休職の期間に係る経過措置についての改正が承認された。
- 平成20年度業務実績報告書 (案)
- 平成20年度業務実績報告書 (案) が承認された。
- 平成20年度決算 (案)
- 平成20年度決算 (案) が承認された。

【平成21年9月17日 第2回経営審議会】

- 平成22年度医学部入学定員増
文部科学省からの「地域の医師確保の観点からの医学部入学定員の増加について」の通知を受け、平成22年度からの医学部入学者の定員を5名増やし105名とする案が了承された。
- 公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正
託児所料金に関する24時間保育託児料の改正が承認された。

■ 教育研究審議会

【平成21年6月22日 第1回定例教育研究審議会】

- 理事長選考会議委員の選出
教育研究審議会委員の中から、次のとおり理事長選考会議委員が選出された。

藤田禎三委員 (副学長兼学生部長)

阿部正文委員 (医学部長)

中山洋子委員 (看護学部長)

【平成21年9月17日 第2回定例教育研究審議会】

- 平成22年度医学部入学定員増
文部科学省からの「地域の医師確保の観点からの医学部入学定員の増加について」の通知を受け、平成22年度からの医学部入学者の定員を5名増やし105名とする案が了承された。

【平成21年12月17日 第3回定例教育研究審議会】

- 動物実験の自己点検・評価の外部検証
動物実験の実施について、国で定めた基本指針に従い、自ら点検及び評価を行うとともに、来年度、その自己点検・評価について、学外の者による検証を実施することについて諮られ、了承された。

■ 医学部教授会

【平成21年10月21日 定例教授会】

- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に係る個人情報管理者の推薦
次のとおり推薦され、その後、理事長から任命された。
和栗 聡 教授 (解剖・組織学講座)

任期は、平成21年11月1日から2年間

【平成21年11月18日 定例教授会】

- 動物実験委員会委員の推薦
次のとおり推薦され、その後、学長から任命された。
和栗 聡 教授 (解剖・組織学講座)
千葉 英樹 教授 (基礎病理学講座)
上田 和毅 教授 (形成外科学講座)
岡田 達也 教授 (自然科学講座)
田中 明夫 准教授 (人間科学講座)
任期は、平成22年1月1日から2年間

■ 看護学部教授会

【平成21年4月21日 定例教授会】

- 福島県立医科大学看護学部紀要投稿規程の一部改正
原稿の種類分類変更等に係る改正が承認された。

【平成21年11月17日 定例教授会】

- 動物実験委員会委員の推薦
次のとおり推薦され、その後、学長から任命された。
本多たかし 教授 (生命科学部門)
任期は、平成22年1月1日から2年間

雑 報

■ 倫理委員会

【平成21年4月3日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】

- No825 介護老人保健施設の看護師に求められる看護技術 (申請者: 生態看護学部門 准教授 小平廣子)
- No831 シフトワークを行う看護師の精神疲労が能動的注意機能に与える影響の検討 (申請者: 総合科学部門 教授 志賀令明)
- No832 健常成人高齢者を対象とした¹²³I-IMP (パービューザミン注) SPECT 検査による脳血流シンチの統計画像解析用データベースの作成に関する研究 (申請者: 放射線医学講座 教授 宍戸文男)
- No833 小細胞肺癌 Refractory relapse に対するアムルピシン、カルボプラチン併用療法の第II相試験 (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)
- No834 小細胞肺癌 Sensitive relapse に対するアムルピシンと再プラチナ併用療法との無作為化第II相比較試験 (NJLCG0702) (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)

No835	切除不能進行胸腺腫・胸腺癌に対するアムル ビシン、カルボプラチン併用療法の第Ⅱ相試験 (NJLCG0803) (申請者：呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)	動能を改善するための至適プログラミング： OPTIMISE-CRT スタディ (申請者：循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)	
No836	進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射の実施 の有無を比較するランダム化比較第Ⅲ相試験 (申請者：臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)	No849	分離肺喚起時におけるパルスオキシメーター Mahimo 7 から得られた Perfusion Index および Pleth variability index の変化の検討 (申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)
No837	肺末梢病変に対するガイドシース気管支腔内超音 波断層法 (EBUS/GS) 併用経気管支生検における、 バーチャル気管支鏡によるナビゲーションと X 線 透視の無作為化試験 (申請者：臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)	No850	全身麻酔に伴う循環変動の予測因子としての術前 Augmentation Index 測定の有用性 (申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)
No838	上部消化管内視鏡検査の咽頭麻酔におけるリドカ インビスカスとリドカインスプレーの比較 (申請者：内視鏡診療部 部長 小原勝敏)	No851	特別養護老人ホームの看護師の看護実践向上に関 する教育支援 (申請者：基礎看護学部門 助手 庄司真奈美)
No839	新しい喫煙依存度簡易質問票日本語版の信頼性に 関する研究 (申請者：衛生学・予防医学講座 講師 神田秀幸)	No852	ホスピタル・ホスピタリティ・ハウスの現状と課 題－運営面の課題解決に向けた取り組み－ (申請者：神経精神医学講座 助教 山本佳子)
No840	加齢黄斑変性症 (AMD) および類縁疾患に対す る研究 (申請者：眼科学講座 教授 飯田知弘)	No853	アスペルガー障害学生の学業支援についての考え 方の調査研究 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
No841	老年期脳外傷者の社会参加を促すプログラムの作 成のための一次調査 (申請者：生態看護学部門 准教授 高橋景子)	No854	Philadelphia 染色体陽性 (Ph+) 慢性期慢性骨髄 性白血病患者のイマチニブ抵抗性または不耐容を対 象としたダサチニブの有効性と安全性を検討する第 Ⅱ相臨床試験 (申請者：循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)
No842	MRSA の感染、および保菌に関する調査研究 (申請者：感染制御・臨床検査医学講座 教授 金光敬二)	No855	フィラデルフィア染色体陽性 (Ph+) 慢性骨髄性 白血病のイマチニブ抵抗性または不耐容症例を対 象としたニロチニブの有効性を検討する前向き多施設 共同臨床研究 (申請者：循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)
No843	全身性強皮症の疾患感受性遺伝子の解明 (申請者：皮膚科学講座 教授 山本俊幸)	No857	褐色細胞腫の診断における血中遊離メタネフリ ン・ノルメタネフリン測定法の臨床的評価に関する 研究 (申請者：腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授 渡辺 毅)
No844	乳癌・甲状腺癌の骨転移における骨型アルカリ フォスファターゼ (BAP) の臨床評価 (申請者：乳腺・内分泌・甲状腺外科 部長 鈴木真一)	No858	高張食塩水吸入による誘発喀痰採取－高張食塩水 の濃度による変化－ (申請者：附属病院看護部 専門看護技師 牧野恵子)
No845	副甲状腺機能亢進症における骨型アルカリフォス ファターゼ (BAP) の臨床評価 (申請者：乳腺・内分泌・甲状腺外科 部長 鈴木真一)	No859	病棟ナースの倫理的問題の気づきを促す為に～倫 理カンファランス定着の有効性～ (申請者：附属病院看護部 看護師長 先崎美起子)
【平成21年5月1日の委員会で承認又は条件付承認とされ たもの (新規申請のみ)】		No860	EGFR 陽性の治癒切除可能な進行・再発の結腸・ 直腸癌に対する Cetuximab および塩酸イリノテカ ン併用療法の KRAS 変異有無による有効性・安全 性の検討 (T-CORE0801) (申請者：臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)
No846	切除可能な消化管間質腫瘍 (GIST) 肝転移患者 の治療方法に関する第Ⅱ相試験<手術療法> － GIST 研究会臨床試験 (A) (申請者：臓器再生外科学講座 教授 後藤満一)	No861	EGFR 陽性の治癒切除可能な進行・再発の結腸・ 直腸癌に対する Cetuximab および塩酸イリノテカ ン併用療法の KRAS 変異有無による有効性・安全
No847	切除可能な消化管間質腫瘍 (GIST) 肝転移患者 の治療方法に関する第Ⅱ相試験<イマチニブ療法> － GIST 研究会臨床試験 (B) (申請者：臓器再生外科学講座 教授 後藤満一)		
No848	心臓再同期療法における機械的指標、症状、運		

性の検討 (T-CORE0801) (ヒトゲノム・遺伝子解析研究) (申請者: 臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)	の母親に焦点を当ててー (申請者: 生態看護学部門 准教授 鈴木千衣)
【平成21年6月5日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】	No877 注意欠陥/多動性障害児をもつ母親の子育て体験 (申請者: ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
No864 ステロイド治療が奏功する原発性胆汁性肝硬変症例についての観察研究 (申請者: 消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	No878 福島県の特別養護老人ホームの感染管理に関する研究ー施設の感染管理体制と職員の感染予防に関する知識・態度などの実態調査ー (申請者: ケアシステム開発部門 教授 黒田真理子)
No865 呼吸機能 (FVC, FEV ₁) に与える諸因子の疫学的検討 (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)	No879 前立腺全摘除術を体験した生活者の変化していくセクシュアリティ (申請者: 応用看護学部門 教授 真壁玲子)
No866 心筋症の子後を予知する因子の同定に関する研究 (申請者: 循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)	No880 非小細胞肺癌根治手術後再発症例に対する TS-1 + CDDP 第Ⅱ相試験 (申請者: 臓器再生外科学講座 教授 後藤満一)
No867 開頭術後の意識障害患者に付き添う家族の体験に関する研究 (申請者: 生態看護学部門 助教 飯塚麻紀)	【平成21年7月3日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】
No868 腰部脊柱管狭窄による神経根性間欠跛行に対するリマプロスト・アルファデスクの有用性の検討 (申請者: 整形外科科学講座 教授 紺野慎一)	No863 高齢者における P300成分の加齢変化と性差の検討 (申請者: 神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
No869 キネステティック概念を応用した体位変換技術導入の実際と今後の課題ー ICU での早期離床を目指してー (申請者: 附属病院看護部 副主任看護技師 吉田純子)	No881 慢性骨髄性白血病を発症した妊婦へのイマチニブ投与
No870 救命救急センターにおける面会に関する意識調査～面会制限見直しのための基礎調査～ (申請者: 附属病院看護部 看護技師 宮川真樹子)	No882 気管支喘息患者に対する呼気一酸化炭素 (Fractional exhaled nitric oxide: FeNO) 値および Impulse oscillometry (IOS) 法による気道抵抗値を指標にしたプロピオン酸フルチカゾン (フルタイド®) とシクレソニド (オルベスコ®) の有用性の比較検討 (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)
No871 原発性胆汁性肝硬変における爪郭毛細血管所見と臨床像との関連に関する検討 (申請者: 消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	No883 キシナホ酸サロメテロール・プロピオン酸フルチカゾン配合薬 (アドエア®) 治療中のコントロール不良な気管支喘息患者における配合薬増量または吸入ステロイド薬シクレソニド (オルベスコ®) 追加の有用性に関する比較研究 (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)
No872 自己免疫性肝炎における肝硬変進展に関する病態解析 (申請者: 消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	No884 難治性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の多施設共同研究: 継続的反复的経頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム解析 (申請者: 神経内科学講座 教授 宇川義一)
No873 ヒト上気道由来上皮細胞を用いた呼吸器系ウィルス感染様式の検討 (申請者: 小児科学講座 教授 細矢光亮)	No886 長期在院統合失調症患者に対する服薬自己管理プログラムの実施とプロセスの評価ーセルフケア能力の向上をめざしてー (申請者: ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
No874 深部静脈血栓症予防における自動運動を継続するための取り組みー人工股関節全置換術後患者の指導を通してー (申請者: 附属病院看護部 看護師長 佐藤幸子)	No887 福島県内の病院併設型精神科デイケアにおける長期利用者の状況把握 (申請者: ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
No875 親を在宅介護する中高年の子どもの健康状態と介護状況に関する研究 (申請者: ケアシステム開発部門 教授 結城美智子)	No888 統合失調症患者に対する漸進的筋弛緩法の適用可能性の検討 (申請者: ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
No876 NICU における親子の関係形成を促すケアに対する母親の受けとめとその影響要因ー極低出生体重児	

No.889 抗精神病薬の特効性製剤と経口剤の比較研究 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	における HCV 感染による肝障害と治療成績に関する後方視的研究 (申請者：循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)	
No.890 統合失調症死後脳におけるドパミン・グルタミン酸による拮抗的調節機構の解明 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.903 循環器疾患患者における心臓リハビリテーションの効果についての検討 (申請者：リハビリテーションセンター 部長 矢吹省司)	
No.891 統合失調症死後脳におけるアポトーシス関連分子の検討 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.904 臨地実習生の質の確保のための看護系大学共用試験 (CBT) の開発的研究 (申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)	
No.892 統合失調症死後脳における MAOA、MAOB の DNA メチル化状態の検出 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.905 肥満のある定期外来患者に対する体重測定を含めた減量助言を医師が毎回の診察で行うことが患者体重に与える影響：家庭医療外来におけるランダム化比較試験 (申請者：地域・家庭医療部 教授 葛西龍樹)	
No.893 虚血性心疾患患者に対するスタチンの投与の有無が冠動脈プラークに与える影響：光干渉断層撮影法 (OCT) による観察 (申請者：循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)	No.906 造血細胞移植時における日常生活動作 (ADL) 維持のための効果的なかかわりに関する研究 (申請者：附属病院看護部 看護師長 菅野恭子)	
No.894 第一再発小児急性リンパ性白血病に対するリスク別臨床研究 ALL-R08 (申請者：臨床腫瘍センター小児腫瘍部門 病院教授 菊田 敦)	No.907 レトロゾールによる術前内分泌療法が奏効した閉経後乳がん患者に対する術後化学内分泌療法と内分泌単独療法のランダム化比較試験 (申請者：器官制御外科学講座 講師 大竹 徹)	
【平成21年8月7日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】		
No.895 ヒト角層脂質流動性の ESR 測定法による再検討 (申請者：放射性同位元素研究施設 助教 中川公一)	No.908 子宮平滑筋肉腫に対する Docetaxel と Gemcitabine 併用化学療法 (第Ⅱ相臨床試験) (申請者：産科婦人科学講座 准教授 山田秀和)	
No.896 わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究 (申請者：腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授 渡辺 毅)	No.909 女性専門外来受診患者における body mass index (BMI) と心の健康に関する研究 (申請者：性差医療センター 講師 小宮ひろみ)	
No.897 インフルエンザウイルスの薬剤耐性獲得機序の検討 (申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)	【平成21年9月4日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】	
No.898 透析患者の生命予後に及ぼす健診受診歴の影響に関する前向き観察研究 (日本透析導入患者コホート研究：Japan Incident Dialysis Cohort Study (J-IDCS)) (申請者：腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授 渡辺 毅)	No.910 血小板保存に伴う保存障害と保存条件の改良に関する研究 (申請者：輸血・移植免疫部 教授 大戸 斉)	
No.899 腰痛における疼痛関連脳活動 (申請者：整形外科科学講座 教授 紺野慎一)	No.911 薬物性肝障害症例の前向き研究 (申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	
No.900 第二世代抗ヒスタミン薬で効果不十分の通年性アレルギー性鼻炎患者を対象としたモメタゾンフランカルボン酸エステル点鼻薬の有効性の検討 (申請者：耳鼻咽喉科学講座 准教授 小川 洋)	No.912 薬物性肝障害の発症に関連するバイオマーカーの探索研究 (申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	
No.901 心臓再同期療法適応診断におけるスペックルトラッキング法の有用性評価に関する試験 (多施設共同前向き登録研究) (申請者：循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)	No.913 薬物性肝障害症例の GST M1, T1 の遺伝子多型の SmartAmp 法による検討 (申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	
No.902 Rituximab 併用化学療法を施行した DLBCL 症例	No.914 MPO-ANCA 関連血管炎の寛解維持療法におけるミゾリピンの有効性・安全性および血中濃度の関連性に関する多施設共同研究 (申請者：腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	

<p style="text-align: right;">教授 渡辺 毅)</p> <p>No.915 内耳関連蛋白解析の臨床応用 外リンパ瘻診断 (申請者:耳鼻咽喉科学講座 准教授 小川 洋)</p> <p>No.916 呼吸機能と胸郭固定用具の検討 (申請者:附属病院看護部 主任看護技師 本田隆宏)</p> <p>No.917 高齢者における上皮増殖因子受容体 (EGFR) 遺伝子変異のない進行・再発非小細胞肺癌に対するエルロチニブの有効性と安全性の検討-Phase II study- (申請者:臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)</p> <p>No.918 上皮増殖因子受容体 (EGFR) 遺伝子変異を有する非小細胞肺癌に対するエルロチニブの有効性と安全性の検討-Phase II study- (申請者:臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)</p> <p>No.919 褐色細胞腫全国疫学調査 (申請者:腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.920 集中治療室看護師の学習支援を目指したコンピテンシーに関する研究 (申請者:生態看護学部門 助手 紺野蘭子)</p> <p>No.921 心臓大血管手術後感染および SIRS におけるエンドキシン吸着療法 (PMX) の検討 (申請者:心臓血管外科学講座 教授 横山 斉)</p> <p>No.922 人工心肺施行後の SIRS/臓器不全発症に対するエンドキシンの関与に関する検討 (申請者:心臓血管外科学講座 教授 横山 斉)</p> <p>No.923 プロマック・アルロイド G 製剤による重症口内炎治療の試み (申請者:麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.924 精神障害者の認知機能障害を向上させるための「認知機能リハビリテーション」に用いるコンピューターソフト「Cogpack」の開発とこれを用いた「認知機能リハビリテーション」効果検討に関する研究 (申請者:神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.925 古典的および骨髄不全型発作性夜間血色素尿症 (PNH) におけるテロメアの検討 (申請者:循環器・血液内科学講座 教授 竹石恭知)</p> <p>No.927 治癒切除結腸癌 (Stage III) を対象としたフツ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究 (申請者:臨床腫瘍センター センター長 石田 卓)</p> <p>No.928 未熟桃果実の皮膚バリアー機能に及ぼす効果 (申請者:微生物学講座 教授 錫谷達夫)</p>	<p>(申請者:微生物学講座 教授 錫谷達夫)</p> <p>No.930 ヒト血管内皮細胞を用いた脳炎・脳症の発症機序の検討 (申請者:小児科学講座 教授 細矢光亮)</p> <p>No.931 2型糖尿病を伴うメタボリック症候群におけるインスリン抵抗性改善薬の循環動態、糖・脂質代謝に及ぼす影響の検討 (申請者:腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.932 腰痛症状の要因に関する研究(1):腰痛要因プロフィールング・ツールの開発 (申請者:整形外科科学講座 教授 紺野慎一)</p> <p>No.933 化学療法をうける在宅患者の抗がん剤暴露に関する調査 (申請者:ケアシステム開発部門 教授 結城美智子)</p> <p>No.934 重症患者への臨床活用を目的とする不穏兆候スケールの開発-評価者間信頼性および併存妥当性の検討- (申請者:ケアシステム開発部門 准教授 大川貴子)</p> <p>No.935 がんサバイバー支援におけるがん看護師の知識、信条、役割-日本がん看護学会 (JSCN)・米国がん看護学会メトロミネソタ支部 (MMONS) のがん看護師- (申請者:応用看護学部門 講師 三浦浅子)</p> <p>No.936 実習指導マニュアル導入後の実習指導に対する効果-授業過程評価スケールを用いて- (申請者:附属病院看護部 主任看護技師 渡辺美恵子)</p> <p>【平成21年11月6日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】</p> <p>No.885 NICU における母乳育児継続に影響を与える因子～実態調査より～ (申請者:附属病院看護部 主任看護技師 遠藤 静)</p> <p>No.937 造影用 ERCP カテーテルとパピロトームを用いた胆管挿管率に関する多施設共同前向き無作為比較試験 (申請者:消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.938 日本形成外科学会疾患登録システム (申請者:形成外科学講座 教授 上田和毅)</p> <p>No.940 改訂版ロールプレイトを用いた精神科デイケアおよび SST の社会生活技能に対する治療効果の評価 (申請者:神経精神学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.941 厚生労働科学研究「医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医の必要数算定法と専門医制度の検討」における DPC データによる糖尿病診療実態の把握</p>
<p>【平成21年10月2日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】</p> <p>No.929 ヒト造血幹細胞移植 NOG マウスを使ったサイトメガロウイルス感染動物実験系の作成</p>	

(申請者：腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座 教授 渡辺 毅)	る研究
No.942 日本集中治療医学会への敗血症治療内容の匿名登録	(申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)
(申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)	No.954 光ボトグラフィーを用いたC型慢性肝炎患者におけるインターフェロン治療時のうつ病発症に関する検討
No.943 乳房切除術患者におけるリハビリテーション介入前後の機能的・心理的变化に関する研究	(申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)
(申請者：リハビリテーションセンター 部長 矢吹省司)	No.955 内視鏡的逆行性膵胆管造影検査(ERCP: endoscopic retrograde cholangio-pancreatography)後の偶発症としての急性膵炎発症に関わる単一遺伝子多型(SNP: single nucleotide polymorphism)の解析
No.944 再手術を受ける網膜剥離患者の思いの分析-患者の思いに沿った看護支援について-	(申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)
(申請者：附属病院看護部 看護師長 先崎美起子)	No.956 眼科外来受診患者の待ち時間実態調査
No.945 統合失調症の受信技能の評価と送信技能や認知機能との関連について	(申請者：附属病院看護部 看護師長 富樫恭子)
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.957 小児期発症ウイルスや細菌感染症における活性化マクロファージの役割に関する検討
No.946 統合失調症死後脳上側頭回におけるドーパミン・グルタミン酸による拮抗的調節機構の異常の解明	(申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.958 慢性糸球体腎炎の炎症惹起、進展憎悪におけるM1、M2マクロファージとレクチン経路の関与に関する研究
No.947 唾液中抗てんかん薬濃度測定による在宅TDM(Therapeutic Drug Monitoring)の試み	(申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.959 C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン+リバビリン併用療法におけるインスリン抵抗性の検討
No.948 非切除悪性中下部胆管閉塞に対するCovered WallFlex stentの有用性を検討する多施設共同臨床試験	(申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)
(申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	No.960 看護師がコントロール不良な糖尿病患者に抱く否定的感情と関わりをあきらめることに影響する要因
No.949 急性膵炎の早期診断と重症化予知に関する尿中trypsinogen-2測定の有用性に関する多施設共同臨床研究	(申請者：基礎看護学部門 教授 横田素美)
(申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	No.961 人工関節登録制度の確立
No.950 統合失調症患者と成人期軽度発達障害患者における聴覚性感覚記憶に関する研究	(申請者：整形外科科学講座 教授 紺野慎一)
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)	No.962 神経根ブロックで腰痛は改善するか
No.951 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの追加免疫に関する検討	(申請者：整形外科科学講座 教授 紺野慎一)
(申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)	No.964 難治性尋常性瘡癩に対するケミカルピーリングの治療効果
	(申請者：皮膚科学講座 教授 山本俊幸)
【平成21年12月4日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】	No.965 皮膚悪性腫瘍のセンチネルリンパ節の同定、および転移の検索に関する研究
No.939 C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン+リバビリン併用療法におけるHMG-CoA還元阻害剤併用によるウイルス学的治療効果に関する研究	(申請者：皮膚科学講座 教授 山本俊幸)
(申請者：消化器・リウマチ膠原病内科学講座 教授 大平弘正)	No.967 統合失調症における抗精神病薬とMismatch Negativity(MMN)との関連
No.952 慢性肺アスペルギルス症を対象としたアムホテリシンBリポソーム製剤とポリコナゾールの比較試験	(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
(申請者：呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)	No.968 リンパ節転移陽性食道癌(術前治療なし)に対する腫瘍特異的ペプチドワクチン療法とFP療法を併用した術後アジュバンド免疫療法(多施設共同第Ⅱ相臨床試験)
No.953 新型インフルエンザウイルスワクチン効果に関する研究	(申請者：臓器再生外科学講座 教授 後藤満一)
	No.969 リンパ節転移陽性食道癌(術前治療あり)に対する

る腫瘍特異的ペプチドワクチン術後アジュバンド免疫療法（多施設共同第Ⅱ相臨床試験）

（申請者：臓器再生外科学講座 教授 後藤満一）

No.972 各種疾患における血清中チトクロム C 測定の臨床の有用性に関する検討

（申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮）

No.973 緩和ケア病棟に勤務する看護師が患者の死と向き合っていくための手がかり

（申請者：応用看護学部門 教授 眞壁玲子）

No.976 小児心身症に対する認知行動療法の効果

（申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一）

■ 医学部定員増の実施について

1 医学部定員増

昨年度、「経済財政改革の基本方針2009」を踏まえ、平成22年度からの医学部入学定員増を容認することが文部科学省から通知されたことから、さらなる医学部入学定員増について県とともに検討し、また、5名の入学定員増について文部科学省等と協議したところ、認められた。

このため、平成21年11月11日付けで文部科学大臣あて学則の変更に係る届出を行い、所定の手続を完了した。

これにより、平成22年度から平成29年度までの入学定員は105名となった。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入学定員	95人	100人	105人	105人	105人	105人
収容定員	495人	515人	540人	565人	590人	615人

	平成26年度	平成27年度 ～ 平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
入学定員	105人	105人	90人	90人	85人	85人
収容定員	625人	630人	615人	600人	580人	560人

	平成34年度	平成35年度	平成36年度
入学定員	85人	85人	85人
収容定員	540人	520人	515人

2 推薦入試の定員増

医学部定員増に伴い、平成22年度からは推薦入試の募集定員（地域枠）を30人以内から35人以内に拡大するとともに、これまでの県内枠に加えて、既卒者を含む県内特別枠7人程度を新たに設け、出願資格に「将来福島県内の公的医療機関等に勤務して地域医療を担うという強い意欲と情熱を持つ者」、「福島県が平成19年10月に条例を制定した福島県緊急医師確保修学資金の貸与を受ける意志のある者」という要件を設け、県内定着の促進を図ることとした。

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
県 内 枠	新卒 5人程度	23人程度	21人程度	
県内特別枠	新卒 既卒 0	0	7人程度	県緊急医師確保修学資金（第一種）貸与
県 外 枠	新卒 3人程度	7人程度	7人程度	県緊急医師確保修学資金（第一種）貸与
計	8人以内	30人以内	35人以内	

■ 寄附講座の開設について

本学では次のとおり、寄附講座を開設しました。

- 名 称
腫瘍生体治療学講座
- 設置期間
平成22年1月1日～平成24年12月31日（3年間）
- 寄附者名
株式会社クレハ
- 寄附金額
総額 9千万円（3千万円×3年間）
- 設置場所
設置場所：福島県福島市光が丘1番地
（公立大学法人福島県立医科大学内）
- 研究体制
特任教授：柴田昌彦
特別研究員（平成22年4月～准教授に任用予定）：志村龍男
- 研究テーマ：
「がん患者の適切な免疫化学療法に関する研究」

■ 学生の部活動報告

サッカー部

医学部3年 天 野 祐 輔

福島県立医科大学医学部3年生の天野祐輔です。現在サッカー部の主将を務めています。今回、本校の学報に私たちの部活動を紹介していただけるということなので、これを機会にサッカー部について少しでも知っていただけたらと思います。

私たちサッカー部は、OB・OGの方々が200名近くもいる伝統のある部活動です。現在部員はプレイヤーが16名、マネージャーが3名の計19名で日々部活動に励んでいます。昨年の主な大会は、4、5月にかけて行われる福島県大学リーグ、6月の北日本医科学生サッカー競技大会、6、7月の天皇杯地区予選、8月の東日本医科学生サッカー競技大会、10月の国公立医科学生サッカー競技大会がありまし

た。大学リーグでは3年ぶり2度目の優勝を果たし、その年の福島県サッカー1種の優秀選手に、サッカー部から2人選出されました。また、天皇杯では社会人クラブも参加している中でベスト16に進出し、東日本医科学生サッカー競技ではベスト8進出を果たすことが出来ました。

サッカー部では、良い意味で上下関係がはっきりとしています。「後輩は先輩のことを敬い、先輩は後輩のことをかわいがる。」当たり前のことかもしれませんが、そこがととも顕著にみられます。それは卒業後も継続しており、OB・OGの方々には多大なるご支援を受けており、本当に感謝しています。しかし、練習になるとその上下関係はなくなり、先輩でもサッカープレイヤーとして全力でぶつ

かっていきます。こういった厳しい環境で自分をアピールしていったり、レギュラーを掴み取ろうとしたりする姿勢が選手一人ひとりを、そしてチーム全体を成長させていくのだと思います。私はサッカー部のような環境で日々切磋琢磨していることが、医療という現場にたっても支えになっていくのではないかと感じています。

最後になりましたが、サッカー部を支えてくださっている顧問の香山雪彦先生、平岩幸一先生、OB・OGの方々、そして福島県立医科大学の皆様には大変お世話になっております。私たちは、皆様のご協力があって活動できているということをいつも感じています。これからもサッカー部へのご支援・ご指導のほどよろしくお願いいたします。



編集発行 公立大学法人福島県立医科大学
事務局企画財務課
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991

所 属	職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)				
						21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
医 学 部	助 教	隈元 謙介	基礎研究(C)一般	21591728	大腸癌における ING2 遺伝子発現の臨床学的意義の検討	800	500	400	400	400
	博士研究員	岩館 学	若手研究(B)	19790924	サロカドアイアリンズを利用した新たな痛放射線療法の確立	600	0	0	0	0
	教 授	横山 清	基礎研究(C)一般	20591651	心拍動下手術における3次元デジタル解剖システムを用いた手術野固定法の改良	1,000	1,000	0	0	0
	教 授	高藤 清	基礎研究(C)一般	20591710	ボストグナム時代における良性脳腫瘍のエビデンス・バイオマーカーの開発	700	800	0	0	0
	教 授	上田 和毅	基礎研究(C)一般	21592221	流入型神経細胞融合における筋肉の脱神経性萎縮防止法の研究	700	500	700	0	0
	准教授	梶川 明義	基礎研究(C)一般	20592100	顔面成長異常に対する下顎骨の成長制御に関する研究	1,000	1,000	0	0	0
	助 教	大河内謙治(補美)	若手研究(B)	20791312	血管吻合部付近の形状と開存率の検討	600	600	600	0	0
	助 教	高橋 秀憲	若手研究(B)	20790770	胎児期・乳幼児期を起源とした生活習慣病・アレルギー性疾患の発症機序についての研究	1,200	0	0	0	0
	助 教	菅沼 亮太	若手研究(B)	21791568	顕微鏡後受容階層害症例に対する治療的な人為的活性化法の有効性に関する検討	1,700	700	900	0	0
	助 手	伊藤 明子	若手研究(B)	20791155	インスリン抵抗性改善薬が多嚢胞性卵巣症候群の子宮内膜に与える影響	600	900	0	0	0
	教 授	細矢 光亮	基礎研究(C)一般	21591330	イルフルエンザ脳症の組織培養モデルを用いた薬剤による病態の増悪及び改善の検討	1,500	1,000	1,000	0	0
	准教授	川崎 幸彦	基礎研究(C)一般	20591283	腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割と再生促進因子の解明	1,000	1,000	0	0	0
	講 師	橋本 浩一	基礎研究(C)一般	21591394	マウスモデルを用いた臨床分離株解析による RSV 病原性発現の新たな機序の解明	2,300	800	500	0	0
	准教授	石龍 鉄樹	基礎研究(C)一般	21592261	視細胞外節断片の視細胞応答機序の解明	1,700	100	100	0	0
	助 教	森 隆史	若手研究(B)	21791697	弱視症例の網膜断片形態と微小視野および多局所網膜電図による局所機能の比較研究	800	500	0	0	0
	講 師	尾山 徳孝	基礎研究(C)一般	21591470	同一の皮膚細胞外基質を標的とする遺伝性・自己免疫疾患の病態解明と分子治療への応用	1,400	1,100	900	0	0
	教 授	山口 脩	基礎研究(C)一般	20591884	閉塞が徐々に完成する新しい BPH モデルによる閉塞膀胱の病態とそのメカニズムの解明	1,000	100	0	0	0
	病院助手	塩見 孝	若手研究(C)一般	21890205	ラット膀胱癌尿期における Rho-kinase の役割	600	900	0	0	0
	教 授	大森 洋一	挑戦的萌芽研究	21699392	気管軟骨組織再生への IPS 細胞の応用	1,500	1,500	0	0	0
	准教授	小川 孝	基礎研究(C)一般	21592162	サイトメカログリスによる聴覚障害メカニズムの解明	1,500	1,000	800	0	0
	講 師	多田 靖宏	基礎研究(C)一般	20592024	組織工学的的手法を用いた新たな人工気管の開発と気管再生における上皮化機序の解明	1,000	600	0	0	0
	講 師	松塚 崇	基礎研究(C)一般	21592220	遺伝子学的的手法を用いたセンネルリンパ節転移の術中迅速診断法の開発	1,400	1,200	900	0	0
	助 教	横山 秀二	若手研究(B)	19791220	気道領域におけるヒト組織の培養および再生に関する研究	800	0	0	0	0
	助 教	三浦 智広	若手研究(B)	21791629	咽頭再生を目的としたウサギ食道の再生 - PGA シートによる組織工学 -	1,900	1,300	0	0	0
	助 教	松井 隆道	若手研究(B)	21791630	サイトメカログリス感染による聴覚障害における聴覚・言語発達に関する研究	1,400	800	1,000	0	0
助 教	野本 幸男	若手研究(C)一般	20890181	ティッシュエンジニアリングによる培養気管の開発に関する研究	1,040	0	0	0	0	
助 手	野本 美香	若手研究(C)一般	21890206	自家軟骨細胞を用いた気管再生技術の開発	1,020	920	0	0	0	
博士研究員	鈴木 輝久	若手研究(B)	21791631	手術時における脂肪組織含有幹細胞群の回収方法と移植法の開発	2,000	1,200	0	0	0	
病院助手	今泉 光雅	若手研究(C)一般	21890207	IPS 細胞を用いた咽頭及び気管軟骨の分化誘導に関する研究	1,040	940	0	0	0	
教 授	丹羽 真一	基礎研究(B)一般	20390315	質量顕微鏡による統合失調症脳のドパミン・グルタミン酸・ギャバ系の解析	2,200	2,100	0	0	0	
准教授	矢部 博興	基礎研究(B)一般	19390299	統合失調症における感覚覚醒内の時間軸異常に関する研究	1,200	1,500	0	0	0	
助 教	小林 直人	若手研究(B)	19790824	認知症病名告知における心理的側面の検討	100	0	0	0	0	
教 授	村川 雅洋	基礎研究(C)一般	20591839	術後せん妄の神経化学的研究	1,100	1,300	0	0	0	
助 教	高橋晋一郎	若手研究(B)	21791460	非脱分極性筋弛緩薬の細胞取り込み機序に関する研究	1,200	1,100	0	0	0	
講 師	中川(末永)恵子	基礎研究(C)一般	19520577	日中戦争期における同仁会の活動実態	500	500	0	0	0	
教 授	本間 好	基礎研究(C)一般	21590314	ペーパ酸化を制御するシグナル系の解析	1,200	1,200	1,100	0	0	
准教授	本間美和子	基礎研究(C)一般	20570137	クロマチンダイナミクスにおける CK2 機能の解明	1,200	1,200	0	0	0	
助 教	東 恒仁	若手研究(B)	20760541	細胞の品質管理機構に着目したバイオ医薬品の生産性向上に関する研究	1,600	0	0	0	0	
教 授	小林 和人	特定領域研究	20019025	GABA 作動性介在ニューロンタイプによる大脳皮質 - 基底核回路機能の制御	3,200	0	0	0	0	
教 授	小林 和人	基礎研究(B)一般	19300109	線糸体投与経路を介する行動制御の神経回路メカニズム	2,800	0	0	0	0	
助 教	甲斐 信行	基礎研究(C)一般	19500297	報酬行動に関わる神経回路メカニズムの解明	700	0	0	0	0	

所	属	職	氏名	研究種目名	課題番号	研究課題名	金額 (千円)								
							21年度	22年度	23年度	24年度	25年度				
医学部	生体機能研究部門	助教	加藤 成樹	若手研究(B)	21700354	特定神経経路標識する逆行性レンチンウチウイルスベクターを用いた視床一線条体経路の機能解明	1,100	1,100	500	0	0				
							講 師	中川 公一	21500410	電子スピニング計測による皮膚角層の階層的複合構造の画像評価	1,900	800	700	0	0
							准教授	片平 清昭	20500375	動物実験の人工的エンドポイント構築のためのテレメトリ法によるエビデンス集積	900	600	0	0	0
							博士研究員	林 志保	21791461	高サイトカイン血症における意識障害のメカニズムと麻酔作用への影響	1,200	1,100	0	0	0
							病院助手	笠原 論	21934018	ラグビー選手の手認知機能の脳内基盤の解明	580	0	0	0	0
							教 授	中山 仁	20520443	規範から逸脱した英語表現の語用論的研究 - 特に従風節の解釈に関して -	500	500	0	0	0
							講 師	立柳 聡	21520823	高齢化コミュニティの暮らしの変化と保健戦略 - 八丈島と興会津山村の比較研究 -	900	1,100	1,200	0	0
							助 手	庄司真奈美	20890182	特別養護老人ホームの看護師の看護実践向上に関する教育支援	1,010	0	0	0	0
							教 授	荒川 唱子	21390569	研究成果を実践活用する方法の開発 - 看護学におけるトランスレーショナルリサーチ	4,200	2,900	2,900	0	0
							准教授	高橋 景子	20592668	老年期脳外傷者の社会参加を促すプログラムの作成	800	800	0	0	0
講 師	平田 弘美	20592667	認知症高齢者による攻撃的行動に対する対処方法の検討	500	200	0	0	0							
助 教	鈴木 学爾	21592811	福島県東北地域における小児救急の課題に応じた看護支援プログラムの開発	700	1,100	700	0	0							
助 教	飯塚 麻紀	21792226	開頭術後の意識障害患者に付き添う家族の看護支援に関する研究	500	200	100	0	0							
助 手	紺野 蘭子	21792225	集中治療看護師の学習支援を目的としたコンピテンシーに関する研究	900	100	100	0	0							
教 授	中山 洋子	18209062	看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究	5,100	0	0	0	0							
教 授	中山 洋子	20659338	参加型アクシヨナリサーチにおける研究倫理ガイドラインの検討	1,500	0	0	0	0							
准教授	大川 貴子	21592763	重症患者への臨床活用を目的とする不穏兆候スケールの開発とケアガイドの作成	1,300	500	700	0	0							
教 授	真壁 瑤子	19592503	老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況	1,300	0	0	0	0							
講 師	古橋 知子	19592504	プリパレレシヨニシヨニ導入・定着に向けたアタクシヨニリサーチ-多施設協同システムの検討-	700	0	0	0	0							

■ 平成21年度 厚生労働科学研究費補助金採択状況 (研究代表者)

(平成22年2月1日現在)

所	属	職	氏名	研究事業名	研究課題番号	研究課題名	金額 (千円)												
							21年度	22年度	23年度										
医学部	神経内科学講座	教授	宇川 義一	こころの健康科学研究事業	H20-こころ-一般-023	反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	26,400												
							公衆衛生学講座	安村 誠司	政策科学総合研究事業 (統計情報総合研究事業)	H20-統計-一般-001	死亡統計データベースの作成とその研究利用のあり方に関する研究	3,300							
												腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	渡辺 敏	循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業	H20-循環器等(生習)-一般-008	今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病 (CKD) の位置付けに関する検討	29,700		
																	輸血・移植免疫学	大戸 斉	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
							臓器再生外科科学講座	後藤 満一	がん臨床研究事業	H21-がん臨床-一般-010	消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	23,100							
												腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	渡辺 敏	地域医療基盤開発推進研究事業	H21-医療-一般-003	医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医の必要数算定法と専門医制度の検討	14,950		
							ケアシステム開発部門	教授	中山 洋子	地域医療基盤開発推進研究事業	H21-医療-指定-010						看護基礎教育の充実および看護職員卒後研修の制度化に向けた研究	16,750	
												看護学部							